

令和5年度 平塚市文化芸術振興計画 掲載事業 進捗状況管理表

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
1	1	魅力	①	文化芸術ホールコンサートの自主公演	市民の文化芸術鑑賞機会を提供するため、ひらしん平塚文化芸術ホール指定管理者が、音楽、演劇など様々なジャンルの自主企画公演を実施します。	音楽公演 7回開催 観客4,950人 演劇・ミュージカル公演 4回開催 観客 1,908人 ダンス公演 3回開催 観客 4,197人 落語・エンタメ公演 2回開催 観客 738人 エンタランス等コンサート 25回開催 観客 1,710人	音楽公演 10回開催 演劇・ミュージカル公演 3回開催 ダンス公演 1回開催 落語・エンタメ公演 2回開催 エンタランス等コンサート 17回開催	音楽公演 10回開催 観客7,195人 演劇・ミュージカル公演 3回開催 観客 1,633人 ダンス公演 1回開催 観客 2,000人 落語・エンタメ公演 2回開催 観客 876人 エンタランス等コンサート 16回開催 観客 1,650人	ほぼ計画どおりに自主公演を合計32回開催し、13,354人の参加があった。市内外の多くの方に多様なジャンルの文化芸術鑑賞体験を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
2	1	魅力	①	魅力ある美術展覧会事業	多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実させるため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。	企画展3回、特集展4回を開催 観覧者数合計54,628人	企画展を3回、特集展を4回開催予定 目標観覧者104,330名	企画展を3回、特集展を4回開催 観覧者数62,928名	優れた美術作品を鑑賞する機会の提供に努めた。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
3	1	魅力	①	博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別展「星になった民具たち」展、春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」展の3回の特別展を開催 会期中の入館者数、28,207人	夏期特別展「茶色ばかりじゃあないんだぞ カラフルな考古資料たち」展、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展、春期特別展「平塚の古道をゆく」展の3回の特別展開催を予定	夏期特別展「茶色ばかりじゃあないんだぞ カラフルな考古資料たち」展、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展、春期特別展「平塚の古道をゆく」展の3回の特別展開催。会期中の入館者：29,182人	予定どおり3回の特別展を開催し、市民の知的共有財産として蓄積した。市民の学習活動を推進するため、魅力的なテーマの掘り起こしと調査研究を継続する。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
4	1	魅力	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客 のべ 1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月14日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバル 12団体参加 観客 のべ 1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団体参加 観客332人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施し、合計46団体、観客2,590人が参加した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
5	1	魅力	①	湘南ひらつか囲碁まつり	木谷道場より多くの有力棋士を輩出した「囲碁のまちひらつか」のシンボルイベントとして、プロ棋士を多数招いた国内最大級の囲碁多面打ち大会等を実施し、地域における囲碁文化の振興と発展を促進します。	10月9日(日)開催 参加1,200人(多面打ち大会538人)	10月 紅谷パールロードを中心に開催	10月8日(日)開催 参加1,700人(1000面打ち大会762人)	70人を超える囲碁のトッププロ棋士が参加する日本最大級の囲碁イベントを開催することで、市内外の囲碁ファンや市民等に「囲碁のまちひらつか」をPRすることができた。感染症対策等により昨年は700面に縮小していた多面打ち大会を従来の1000面に戻して実施した。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
6	1	魅力	①	木谷實・星のプラザを活用した囲碁文化の発信	ひらしん平塚文化芸術ホールに設置した木谷實・星のプラザで、木谷實九段の人柄や偉大な囲碁の功績、並びに木谷一門の活躍を中心に、囲碁文化の発信を行う展示を実施します。	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を3回実施 ・木谷實と地方回り指導碁 ・木谷實と名人引退碁 ・囲碁と錦絵-水口コレクション-	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を年4回実施	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を4回実施 ・囲碁と錦絵-水口コレクション- ・木谷道場での生活 ・好敵手呉清源と鎌倉十番碁 ・日曜品と囲碁-水口コレクション-	計画どおり4回の企画展を実施できた。令和5年度の企画展をもって全6つの企画が1周したため、今後は展示内容について見直し等を行うことでさらなる囲碁文化の発信を図る。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
7	1	魅力	①	村井弦斎まつり	平塚に居住し、食文化の向上と小説の大衆化に寄与した時代の先駆者、村井弦斎の遺徳を偲び、その業績を市内外に発信・定着させるとともに、まちおこしの一環となることを目的に、村井弦斎まつりを開催します。	台風14号の影響で開催中止。	9月24日(日)午前10時～午後2時30分、村井弦斎公園を会場に大人も子どもも楽しめる12の弦斎ゆかりのイベント(催事)や5つのブースで食道楽レシビの再現料理・菓子、新鮮野菜販売等を予定	弦斎再現料理販売、地場産野菜・魚燻製販売や、野点、ソプラノ・箏・ピアノユニット 絃声の公演、食道楽弦斎食育釣りかるたを行い、子ども向けには、子ども茶道体験教室、いちご飴つかみ取り、紙芝居、タマ三郎のお魚つりゲームを行った。来場者1,226人。	多くの来場者があり、村井弦斎の業績を市内外に発信・定着させるとともに、まちおこしの一環とすることが出来た。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
8	1	魅力	②	里山の保全・活用	(環境保全課) 里山らしさがよく残された西部丘陵地域の自然を保全・再生するため、土屋頭無地区の山林の一部を里山保全モデル地区に指定しました。里山保全モデル地区では、市民ボランティアや地域の人などと散策路の整備、倒木の裁断、間伐、下草刈などによる里山の整備事業を実施します。 (まちづくり政策課) 本市西部地域の貴重な自然環境や地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、まちづくり条例に基づいた「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が主催する活動を支援します。	(環境保全課) 作業を4回実施(農道整備2回、地区内エノキの幼木の保護、エノキ・コナラの保護と数を増やすための種の確保)合計42人の市民ボランティア等が参加。 (まちづくり政策課) 新型コロナウイルスの影響でワークショップは中止。 協議会と合計6回の意見交換を実施。	(環境保全課) 作業を年5回実施(農道整備2回、地区内エノキの幼木の保護、落ち葉かき、エノキ・コナラの保護と数を増やすための種の確保、林内整備、オオムラサキ越冬幼虫調査) (まちづくり政策課) 自然体験や環境学習の機会を創出して樹林地等の活用を進めます。	(環境保全課) 作業を5回実施(農道整備、地区内エノキの幼木の保護、エノキ・コナラ・クヌギの保護と数を増やすための種の確保)合計47人の市民ボランティア等が参加。 (まちづくり政策課) 4年振りにワークショップが開催された。また、協議会等と合計9回意見交換を行った。	(環境保全課) ホームページ等を活用し、里山保全に関する情報発信や市民ボランティアの募集を行っているが、情報の発信回数が徐々に減少傾向にあるため、情報の発信に努めていきたい。エノキ・コナラ・クヌギについては、わずかであるが芽が出たものがあった。 オオムラサキの幼虫については確認できなかった。 (まちづくり政策課) 協議会等と意見交換を重ねて、まちづくりの方向性や次年度以降の連携のあり方について、協議を行うことができた。	環境部 まちづくり政策部	環境保全課 まちづくり政策課	(環境保全課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施
9	1	魅力	②	海岸エリア魅力アップチャレンジ	湘南海岸公園をはじめ、龍城ヶ丘プールの跡地やビーチパーク、平塚新港、なぎさプロムナードの五つのゾーンで、それぞれのコンセプトによる魅力アップを図り、安心・安全で楽しみいっぱい、誰もが「訪れたい、暮らしたい」と思うようなまちづくりを進めます。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はなし。 (農水産課) JA湘南と協力して平塚新港及び多目的広場で、魚まつりと農業まつり(地産地消費フェア)を同時開催しました。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップの配布や情報発信を実施。 ・「ひらつか匠の店」ツアーを1回実施。 ・SunSunマルシェの継続開催に向け、イベント会場及び臨時駐車場に係る公園使用について、手続き面で協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施した。 (都市整備課) 関係機関と協議を7回実施。 (みどり公園・水辺課) 事業者から提出された見直しプランについて、平塚市公募対象公園施設設置等予定者選定委員会において審議したところ、見直しプランで事業を継続していくことは妥当であるとの御意見を受けたことから、市として事業継続に向けたプランとして決定した。	(広報課) 市民や団体等から開催希望があった場合に、ノウハウの提供や道路占用許可等の手続へ協力。 (農水産課) 平塚新港で魚まつり朝市を開催します。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップ配布などを通じ来街者への平塚のイメージアップを図り、魅力ある店舗の出店を促進。 ・花水公民館で匠の店である鳥仲商店の「唐揚げの作り方教室」を秋に開催予定。匠の店のパンフレットの配布。 ・公園使用の手続き面で、SunSunマルシェの継続開催に協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施する。 (都市整備課) 庁内協議を行う。 (みどり公園・水辺課) 事業者と設計を進め、関係機関協議を終了し、令和6年3月29日までに、事業者と実施協定を締結する。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はなかった。 (農水産課) 平塚新港で魚まつり朝市を開催し約800人が来場した。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップの配布や情報発信を実施。 ・「ひらつか匠の店」ツアーを1回実施。 ・SunSunマルシェの継続開催に向け、イベント会場及び臨時駐車場に係る公園使用について、手続き面で協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施した。 (都市整備課) 庁内関係課と協議を3回実施。 (みどり公園・水辺課) 設計及び関係機関協議を完了した。	(広報課) イベントの開催はなかったが、海岸エリアの魅力、定住促進サイトやインスタグラムなどで紹介し、高評価を得た。 (農水産課) 地産産水産物の販売などにより漁業理解の促進や賑わい創出に寄与した。 (商業観光課) ・湘南観光ガイドブック「SHONAN SLOW TRIP」増刷し、誘客を図った。 ・漁港周辺の「ひらつか匠の店」(長谷金本店、相模屋海苔点)及び丸八丸、アップルキャンディーで鏝削り体験、海苔の味くらべ、しらす釜揚げ、食品サンプル作りを行う観光ツアーを実施し、海岸エリアの魅力を発信した(平塚市観光協会主催)。 ・月1のSunSunマルシェ開催に向け手続き面で協力し、継続開催を支援した。 (まちづくり政策課) 良好な景観形成を誘導することができた。 (都市整備課) 道路整備に向けた関係機関との協議には、沿道及び後背地整備計画と道路整備の必要性を示す必要があり、新港周辺整備の考え方の整理と方向性が示される必要がある。 (みどり公園・水辺課) 物価高騰の影響等を考慮しながら、事業費の積算など契約に向けた調整を進めてきたが、さらに3か月の期間延長を要することから、新たな実施協定の締結期限を令和6年6月28日とした。	市長室 企画政策部 産業振興部 まちづくり政策部 都市整備部	広報課 企画政策課 農水産課 商業観光課 まちづくり政策課 交通政策課 都市整備課 みどり公園・水辺課	(広報課) 市と市民等が協働連携して実施 (農水産課) 市と市民等が協働連携して実施 (商業観光課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施 (都市整備課) 市が単独で実施 (みどり公園・水辺課) 市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
10	1	魅力	②	高麗山公園(湘南平)魅力アップ事業	高麗山公園(湘南平)について、樹木整理による眺望の確保や、再整備に向けた公園の方向性、整備手法等について整理・検討します。	園路補修のために工事を発注した。諸事情により、工事期間を延期した。	ベンチやテーブルの増設等により、利用者の快適性の向上を図る。	老朽化した遊具を更新するとともにテーブルベンチを増設した。また、新たに大磯町・二宮町と共同で散策マップを作成し、より広域への情報発信に努めた。	遊具の更新やテーブルベンチの増設により様々な方が頂上エリアの眺望・景観を楽しめる公園機能が向上した。	都市整備部	みどり公園・水辺課	市が単独で実施
11	1	魅力	②	金目エコミュージアム	金目地区の自然環境、歴史、文化遺産を守り・伝え・活かすため、地域団体「金目エコミュージアム」において、地域のまちづくりや自然・歴史の調査等の各種事業を展開します。	4月30日(土)わかば祭り 200人 灯ろう流し 中止 11月6日(土)金目収穫祭 500人 3月21日(火・祝)秋山博頌徳祭 40人 3月19日(日)～21日(火・祝)秋山博資料展 30人 2月12日(日)金目エコミュージアムの集い 講演会・活動展示・一日博物館等200人 出前授業 5月18日(水)、6月3日(金)・16日(木)、1月26日(木)	4月 わかば祭り 1日開催 8月 灯ろう流し 1日開催 11月 金目収穫祭 1日開催 3月 秋山博頌徳祭・資料展 頌徳祭1日、資料展3日間開催 随時 出前授業	5月4日(木)わかば祭り 700人 8月12日(土)灯ろう流し 11月5日(日)金目収穫祭 800人 11月12日(日)日本エコミュージアム研究会2023活動発表・講演会・活動展示等66人 3月20日(水・祝)秋山博頌徳祭 80人 3月17日(日)～20日(水・祝)秋山博資料展 30人 出前授業 6月28日(水)、9月6日(水)、11月1日(水)	イベント等を担う金目エコミュージアム会員の高齢化で、会員個人への負担が大きくなっている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
12	1	魅力	②	景観形成推進事業	自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらうため、テーマに沿った景色等を描いてもらう「わたしが好きなまちかどスケッチ展」(市内小学校の児童対象)を実施します。また、景観法の基本理念の普及や良好な景観形成についての意識啓発を目的として、市内の特徴ある風景等を紹介する「景観パネル展」を実施します。	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:424点 募集作品展示: (美術館)令和4年10月27日(木)から10月30日(日)まで ※市役所での展示は、展示予定場所が新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されるため、中止。 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 9月に市内小学校から作品を募集 募集作品展示: (美術館)令和5年10月26日(木)から10月29日(日)まで (市役所)令和5年11月13日(月)から11月17日(金)まで 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:402点 募集作品展示: (美術館)令和5年10月26日(木)から10月29日(日)まで ※市役所での展示は、展示予定場所が新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されることとなったため、中止。 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	子どもたちに自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらえた。また、子どもたちの作品の展示や景観パネル展を実施することによって、子どもたちだけでなく幅広い層に対して平塚市の景観に対する意識の向上を促すことができた。	まちづくり政策部	まちづくり政策課	市が単独で実施
13	1	魅力	②	湘南ひらつか七夕まつり	観光振興のため、新たな日常に対応した、安心・安全な七夕まつりを開催します。	7月8日(金)～10日(日)の3日間開催 来場者数 80万人	クリーンで安心安全なまつりとし、課題となっている七夕飾りの減少に対しても対応策を検討し、持続可能な開催を目指す。	7月7日(金)～9日(日)の3日間開催 来場者数 115万人	メイン通りの飾りがR4年と比べて7本減少したため、引き続き飾りの減少に対して対応策を講じていく。また、新たな課題として、露店を見附台公園に集約したことで、公園内や周辺道路に混雑が生まれた。	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
14	1	魅力	②	市民団体との協働による着地型観光の推進	地域資源を活用した新たな体験プログラム等の実施及びこれを通じた平塚の魅力を情報発信します。	新規に開発したプログラム数 12個 実施したプログラム数 16個	着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施 ※20プログラム、参加人数400名を目標とする。	令和4年度で事業を終了し、観光協会にて実施となった	—	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
15	1	魅力	②	平塚産品普及促進事業	メイドイン平塚を市内外に広く普及させるため、生産者と消費者とのふれあいの場の充実を図るほか、平塚産品をPRすることにより、ブランド化を進めていきます。	5年に一度の見直しを実施し、名産品22品、特産品9品を認定した。名産品各種物産展等への参加日数30日(うちふれあいマーケット開催回数12回) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数34,740件	新たに選定した名産品及び特産品を市内外に広く普及させるため、SNSでの情報発信を行う。ふれあいマーケットは月1回の開催を予定。	名産品各種物産展等への参加日数37日(うち、湘南ふれあいマーケット12日) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数31,605件	名産品・特産品分野では認知向上への取組の充実、啓発活動の実施が課題。湘南ひらつかふれあいマーケット(朝市)分野では、青果・和菓子事業者の退会による集客力低下が課題。	産業振興部	産業振興課	市と市民等が協働連携して実施
16	1	魅力	②	市民総合体育大会開催事業	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	10月30日(日)、11月6日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、2,832名	10月22日～11月12日に開催。	10月22日(日)～11月12日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、2,985名	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
17	1	魅力	②	各種スポーツ大会開催事業	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	令和5年1月8日(日)に実施。 地区対抗の部 17チーム 102人 実業団対抗の部 8チーム 40人 合計 25チーム 142人	令和6年1月7日に開催。	令和6年1月7日(日)に実施。 地区対抗の部 20チーム 120人 実業団対抗の部 9チーム 45人 合計 29チーム 165人	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
18	1	共生	①	来館できない人への図書館サービス事業	図書館に来館出来ない人のために、移動図書館車の巡回、出前図書館等を実施するとともに、障がいのある方に対し郵送等による資料の貸出を行います。また来館しなくてもインターネットから資料を貸出する電子図書館サービスを実施します。	出前図書館 計15団体へ4,438点貸出 郵送貸出(デジ書・録音図書・CD)計 162点貸出 電子図書館ログイン回数 10,375回	移動図書館の巡回、出前図書館・団体貸出実施(要望により随時)、郵送サービスの実施、電子書籍の購入・貸出	出前図書館 計15団体へ4,769点貸出 郵送貸出(デジ書・録音図書・CD)計 285点 電子図書館ログイン回数 29,329回 電子図書館閲覧回数 54,391回	児童書読み放題バックを購入し、12月から市内小・中学校タブレット端末と電子図書館の連携を開始した結果、ログイン回数・閲覧回数が増加した。 移動図書館の定期巡回に替わる図書館サービスの提供方法の整備が課題となる。	社会教育部	中央図書館	市が単独で実施
19	1	共生	①	町内福祉村での文化的活動	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で7,847回のサロンを実施し、75,256人が参加した。	各福祉村の活動が活発になるよう引き続き支援し、多くのサロン活動が展開されるよう促すとともに、広く活動を周知し、様々な世代の参画を促す。	18の福祉村で7,999回のサロンを実施し、79,907人が参加した。	ボランティアや参加者の高齢化や固定化が見られることから、福祉村活動を持続可能なものとするため、多世代の交流を促進する必要がある。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
20	1	共生	①	老人クラブ(ゆめクラブ)での文化的活動	「生きがい教室」や「趣味の作品展」を老人クラブと共催して開催します。	音楽教室 9回,129人 編み物教室 3回,約30人 手芸教室 3回,31人 フラワーアレンジメント教室 3回,約60人 福祉大会 1回,390人 ねんりんピックかながわ2022 出演・展示 65人(出演・出展者) 趣味の作品展 503人	音楽教室 9回 フラワーアレンジメント教室 2回 手芸教室 6回 趣味の作品展 1回 福祉大会 1回	音楽教室 9回129人 フラワーアレンジメント教室 2回24人 手芸教室 6回82人 趣味の作品展 1回630人 福祉大会 1回402人	生きがいや健康づくりの一環として多様な文化芸術を楽しめる機会を設けることができた。	福祉部	高齢福祉課	市と市民等が協働連携して実施
21	1	共生	①	保育園、幼稚園、病院等への訪問コンサート	平塚市まちづくり財団が、保育園・幼稚園等にアーティストを派遣し、コンサートを実施します。また、東海大学と連携し、平塚市民病院に音楽療法等を学ぶ学生を派遣します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業中止	保育園・幼稚園等でのコンサート、平塚市民病院への東海大学生の派遣を実施予定	保育園・幼稚園等14園への訪問コンサートを実施した。	園児が音楽に触れる貴重な機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
22	1	共生	①	ひらつか障がい者福祉ショップありがとうでの製作品等の販売	障がい者が働く福祉ショップありがとうでの製作品等の販売を通じて、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を進めます。	運営・販売を行うほか、「心のバリアフリー」に関連する冊子やグッズを配布し、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進。	引き続き、運営・販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進。	福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、また、それに加えて、「心のバリアフリー」に関連する冊子やグッズを配布し、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進した。	計画どおりに、福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進することができた。	福祉部	障がい福祉課	市と市民等が協働連携して実施
23	1	共生	①	国際交流イベントの開催	市内在住・在勤・在学の外国籍市民とともに、各国の文化の紹介や音楽などを楽しみながら、お互いの文化を理解し交流を深め、市民の国際理解と多文化共生の推進を図るため、ひらつか国際交流フェスティバルを開催します。	開催日時:令和4年11月20日(日)13時～16時 場所:平塚市青少年会館2階集会室 参加:66人	年1回開催	開催日時:令和5年11月19日(日)13時～16時 場所:ひらしん平塚文化芸術ホール・多目的ホール・見附台公園 参加:600人	事業計画どおり市民の国際理解と多文化共生の推進を図るひらつか国際交流フェスティバルを開催することができた。次年度は、より多くの外国籍市民が参画できるように開催規模の拡大を図る。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
24	1	共生	①	文化芸術ホールにおける誰もが参加しやすい配慮をした事業実施	誰もが参加しやすい文化芸術鑑賞機会を提供するため、ひらしん平塚文化芸術ホール指定管理者が、年齢や国籍、障がいの有無などを問わない多様な市民向けの公演を実施します。	11月3日(木) ドン! 舞! フェスティバルIN平塚開催 観客 466人 障がい者を含む出演団体 2団体	11月 This is me!これが私! 200人によるゴスペルコーラス 1日開催	11月3日(金) This is me!これが私! 200人によるゴスペルコーラス開催 観客 815人 8～74歳の72名の公募市民クワイアが参加	ゴスペルシンガー三科かをりさんとサポートバンド、105名のKWRゴスペルクワイア、キッズダンスグループ ENJOINT DANCE CLUB KIDSに、公募で参加した市民クワイア72名を加え、200名以上の幅広い年齢の出演者が舞台に立つ機会を提供できた。200名超による圧巻のパフォーマンスで、大勢の観客に舞台芸術を楽しむ機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
25	1	共生	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客 のべ 1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月14日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバル 12団体参加 観客 のべ 1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団体参加 観客332人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施し、合計39団体、観客2,590人が参加した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
26	2	継承	①	社会科副読本編集発行事業	郷土の歴史・地理・産物等を学ぶため、小学校3・4年生の社会科で使用する副読本と白地図を発行します。	小学校3・4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を2,200部作成し、新小学3年生に配布した。	新小学3年生を対象に、約2,300部を作成し配布する予定。	小学校3・4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を2,200部作成し、新小学3年生に配布した。	計画通りに作成でき、市内の新小学3年生に配布できた。小学校3・4年生の社会科の副読本として活用されている。	学校教育部	教育研究所	市が単独で実施
27	2	継承	①	地域を学ぶ普及・体験事業	体験学習や講座を開催します。	人文・自然各部門で計353回開催。延べ参加人数、5,048人	人文・自然各部門で体験学習や講座の開催を予定	人文・自然各部門で計389回開催。延べ参加人数:6,611人	ポストコロナで、自由参加行事を増やし新たなファン層の取り込みを図った。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
28	2	継承	①	芸術文化子ども体験事業	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	【依頼先】 小学校7、公民館6、教育カネット3 【内容】 華道7、琴4、奇術1、相模人形芝居4参加者194名。	12教室開催	【依頼先】 小学校4、公民館5、教育カネット3 【内容】 華道7、琴3、奇術1、茶道3、書道3、相模人形芝居2 参加者は205名。	12教室実施し、体験を通して、子どもたちの芸術文化への関心や理解を深めることができた。引き続き多くの子どもたちに芸術文化を体験してもらうため、未実施地区及び学校への周知、理解の拡大が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
29	2	継承	①	博物館特別展示事業(再掲)	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別展「星になった民具たち」展、春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」展の3回の特別展を開催 会期中の入館者数、28,207人	夏期特別展「茶色ばかりじゃあないんだぞ カラフルな考古資料たち」展、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展、春期特別展「平塚の古道をゆく」展の3回の特別展開催を予定	夏期特別展「茶色ばかりじゃあないんだぞ カラフルな考古資料たち」展、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展、春期特別展「平塚の古道をゆく」展の3回の特別展を開催。 会期中の入館者:29,182人	予定どおり3回の特別展を開催し、市民の知的共有財産として蓄積した。市民の学習活動を推進するため、魅力的なテーマの掘り起こしと調査研究を継続する。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
30	2	継承	②	能狂言などの伝統芸能公演事業	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	2月12日(日)第9回湘南ひらつか能・狂言実施 観客429人	隔年開催のため実施なし	—	隔年開催のため今年度は実施がなかった。令和6年度に実施を予定している。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
31	2	継承	②	ふるさと歴史再発見事業	先人達が守り伝えてきた文化遺産や歴史等を掘り起こし、見つめ直し、その調査、保存、普及活動に取り組む地域や団体等の活動を支援します。	中原の鷹狩り行列は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。市内各所に設置している文化財説明板の点検を行い、「旭地名発祥の碑」の盤面劣化のため修繕を実施。	中原の歴史再発見活動委員会の活動補助。 市内各地に設置した文化財説明板の点検及び修繕の実施	中原の鷹狩り行列が4年ぶりに開催された。 市内各所に設置している文化財説明版の点検を行い、「平塚灯台(須賀の灯台)跡地」の説明版修繕を実施。市ホームページ上で説明板設置マップを公開した。	文化財説明板の点検と修繕を継続。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
32	2	継承	②	博物館調査研究事業	地域の歴史や自然の調査研究を進め、成果を蓄積し刊行物発行等の教育活動を実施し、合わせて博物館資料の保全を図ります。	博物館調査研究報告『自然と文化』に9件の報文として掲載し刊行した。	博物館調査研究報告『自然と文化』に調査研究成果を報告予定	博物館調査研究報告『自然と文化』に6件の報文として掲載し刊行した。	市民協働の収集・調査・研究がすすめられ資料や情報を蓄積した。	社会教育部	博物館	市と市民等が協働連携して実施
33	2	継承	②	木谷實・星のプラザを活用した囲碁文化の発信(再掲)	ひらしん平塚文化芸術ホールに設置した木谷實・星のプラザで、木谷實九段の人柄や偉大な囲碁の功績、並びに木谷一門の活躍を中心に、囲碁文化の発信を行う展示を実施します。	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を3回実施 ・木谷實と地方回り指導碁 ・木谷實と名人引退碁 ・囲碁と錦絵-水口コレクション-	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を年4回実施	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を4回実施 ・囲碁と錦絵-水口コレクション- ・木谷道場での生活 ・好敵手呉清源と鎌倉十番碁 ・日曜品と囲碁-水口コレクション-	計画どおり4回の企画展を実施できた。令和5年度の企画展をもって全6つの企画が1周したため、今後は展示内容について見直し等を行うことでさらなる囲碁文化の発信を図る。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
34	2	継承	③	無形文化財保護事業	郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、活動発表の場である民俗芸能まつりを開催するほか、その保存に必要な活動支援等を行います。	第46回ひらつか民俗芸能まつりを令和4年11月20日(日)、13時00分～16時35分まで実施。関係者と観客合わせて190名参加。相模人形芝居前鳥座が県指定40周年を迎えたため民俗芸能まつり内で記念式典を実施。	第47回ひらつか民俗芸能まつりを令和5年11月19日(日)、13時00分～16時25分、5団体出演。後継者育成のための演技指導者派遣	第47回ひらつか民俗芸能まつりを令和5年11月19日(日)、13時00分～16時25分まで実施。関係者と観客合わせて177名参加。	民俗芸能まつりは、関係者と観客合わせて177名参加。来場者数の増が課題。また、演技指導者を派遣し、後継者育成に努めた。後継者不足が課題。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
35	2	継承	③	能狂言などの伝統芸能公演事業(再掲)	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	2月12日(日)第9回湘南ひらつか能・狂言実施 観客429人	隔年開催のため実施なし	—	隔年開催のため今年度は実施がなかった。令和6年度に実施を予定している。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
36	2	継承	③	芸術文化子ども体験事業(再掲)	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	【依頼先】 小学校7、公民館6、教育カネット3 【内容】 華道7、琴4、奇術1、相模人形芝居4参加者194名。	12教室開催	【依頼先】 小学校4、公民館5、教育カネット3 【内容】 華道7、琴3、奇術1、茶道3、書道3、相模人形芝居2 参加者は205名。	12教室実施し、体験を通して、子どもたちの芸術文化への関心や理解を深めることができた。引き続き多くの子どもたちに芸術文化を体験してもらうため、未実施地区及び学校への周知、理解の拡大が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
37	2	交流	①	平塚市文化祭の開催	市民による日頃の文化活動の成果の発表と市民文化の高揚を目的として、舞台公演、芸術作品や文芸作品の公募と展示等を開催します。	令和4年10月3日(月)～11月20日(日)の期間に公募展3件、舞台公演9件(中止2件)、文芸大会・茶会等6件を開催。参加者と来場者は合わせて5,772名。平塚市文化連盟70周年展も実施した。	令和5年10月7日(土)～11月12日(日)の期間に公募展3件、舞台公演10件、文芸大会・茶会等6件を開催。	10月7日(土)～11月12日(日)の期間に公募展3件、舞台公演10件、文芸大会・茶会等6件を開催。参加者と来場者は合わせて5,380名。	芸術作品(書道)は募集対象を小中学生に広げ、参加者の拡大につながった。一方で、伝統芸能の分野によっては、継承者不足が懸念されており、参加者及び来場者増加に向けた普及啓発活動が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
38	2	交流	①	市民・企業・大学等交流事業	市民、企業、大学等の交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光等の各分野における交流事業を推進します。	8月及び3月に交流委員会を書面開催した。各推進部会では新型コロナウイルス感染症により一部事業を縮小、中止したが、合計14事業を実施した。延べ参加者数：5,420人	7月及び3月に交流委員会を開催。各推進部会では合計11事業を実施。	7月及び3月(書面)に交流委員会を開催した。各推進部会では合計11事業を実施した。延べ参加者数：7,076人	神奈川大学の湘南ひらつかキャンパスの移転により、キャンパスを使用して交流していた事業が実施できなくなった。今後も神奈川大学との交流は続くが、別の形での事業検討が課題となる。	企画政策部	企画政策課	市と市民等が協働連携して実施
39	2	交流	①	公民館の文化的事業	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,173人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,583人(2日間)	計画どおりに実施し、活動団体や地域団体の成果発表を通して、地域コミュニティの醸成を図ることができた。	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施
40	2	交流	①	市民総合体育大会開催事業(再掲)	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	10月30日(日)、11月6日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。正式種目の参加者は、2,832名	10月22日～11月12日に開催。	10月22日(日)～11月12日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。正式種目の参加者は、2,985名	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
41	2	交流	①	各種スポーツ大会開催事業(再掲)	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	令和5年1月8日(日)に実施。地区対抗の部 17チーム 102人 実業団対抗の部 8チーム 40人 合計 25チーム 142人	令和6年1月7日に開催。	令和6年1月7日(日)に実施。地区対抗の部 20チーム 120人 実業団対抗の部 9チーム 45人 合計 29チーム 165人	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
42	2	交流	②	友好都市との市民交流や観光物産展の開催	文化、スポーツ、教育、産業の各分野を通じて友好都市と相互の市民交流を進め、相互の理解と友好親善を推進します。	6月 伊豆市で梅狩り体験 来場者:42人 7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市少年少女交流キャンプ 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止 8月 友好都市こどもマリン交流 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止 10月 高山市市民ツアー訪問(40周年記念) 参加者:16人 10月 伊豆市の魅力紹介展 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止 11月 高山市市民ツアー受け入れ(40周年記念)参加者:28人 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者:約6,700人 11月 ひらつか友好都市紹介展 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止 1月 平塚市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 8人 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣 5人 1月 友好都市学校給食交流事業 平塚市児童:小学生約11,950人、花巻市児童:小学生約4,210人 中学生約2,300人、伊豆市児童:小学生約970人 中学生約590人 2月 わんこそば全日本大会食士派遣 3人 2月 花巻の観光と物産展 来場者:6,184人 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市郷土芸能披露 7月 七夕まつり市民ツアー受け入れ 7月 友好都市少年少女自然体験交流事業 8月 友好都市伊豆市・平塚市小学生交流事業 8月 伊豆市の魅力紹介展 10月 湘南ひらつか囲碁まつり市民ツアー受け入れ 10月 花巻市イーハトーブレディース駅伝 平塚市チーム派遣 11月 伊豆市友好都市提携10周年記念市民ツアー 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 12月 友好都市こどもスノー交流 1月 平塚市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 2月 花巻の観光と物産展 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市郷土芸能披露 高山市:12人 花巻市:10人 伊豆市:30人 7月 七夕まつり市民ツアー受け入れ 花巻市民43人 伊豆市民23人 7月 友好都市少年少女自然体験交流事業 参加者(引率含む):15人 8月 友好都市伊豆市・平塚市小学生交流事業 参加者(引率含む):17人 8月 伊豆市の魅力紹介展 来場者:97人 10月 湘南ひらつか囲碁まつり市民ツアー受け入れ 12人 10月 花巻市イーハトーブレディース駅伝 平塚市チーム派遣 7人 11月 伊豆市友好都市提携10周年記念市民ツアー 参加者:42人 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者数:76,504人 12月 友好都市こどもスノー交流 児童16人 1月 平塚市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 9人 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣(雨天のため中止) 2月 花巻の観光と物産展 来場者数:7,005人 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	事業計画どおり友好都市事業に参加、また平塚市都市提携委員会主催で実施ができた。小学生5・6年生の交流が再開し、相互理解と友好親善を深めることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
43	2	交流	②	青少年国際交流事業	①青少年海外派遣事業 国際青年の年(昭和60年(1985年))の記念事業の一環として始まったもので、市内の中学生・高校生を海外に派遣し、青少年、教育、文化等、諸事情の調査視察、現地青少年との交歓交流などの各種活動を通して、国際的視野を広め、その成果を市内青少年活動の指導推進に役立てる目的で実施します。 ②ローレンス市青少年受入事業 平成2年(1990年)9月21日に締結された、アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市との姉妹都市提携に基づき、両市青少年の交流を図り、青少年の国際的な視野を広めることを目的として、平塚市青少年国際交流事業実行委員会に委託し、各方面から多大なボランティア協力を得て実施します。	・海外派遣事業に参加した団員で組織する「ヒコーキ雲の会」により、インスタグラムでローレンス市とオンライン交流を実施。七夕まつりの時期等、定期的に街の様子を発信。 ・ローレンス市、平塚市姉妹都市提携30周年記念オンライン交流会に「ヒコーキ雲の会」の2名が参加した。	①青少年海外派遣事業 令和5年7月21日～31日 中学生ら10名を派遣 ②ローレンス市青少年受入事業 令和5年6月30日～7月9日 中学生ら10名程度を受入	①青少年海外派遣事業 令和5年7月21日～31日 中学生10名、引率者3名(青少年課職員2名、ヒコーキ雲の会1名)を派遣 ②ローレンス市青少年受入事業 令和5年6月30日～7月9日 中学生8名、引率者3名を受入	①、②ともに新型コロナウイルス感染症の影響により入出国等が制限されていたため中止していたが、令和5年度から新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが変更される等規制が緩和され、令和元年度以来4年ぶりに事業を再開できた。 また、①海外派遣事業実施中に団員の1人が新型コロナに罹患した。対応はローレンス市の方がホテルの手配等対応してくれたため大事には至らなかったが、不測の事態の対応についてローレンス市側と改めて協議。原則としては費用面も含めてホスト側が対応することとなった。	健康・こども部	青少年課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
44	2	交流	②	国際交流活動推進事業	国際交流員を任用し、市民の国際感覚や国際意識を高めるとともに、ホストタウンとしてリトアニアの都市との交流活動を推進します。また、市民主体の国際交流事業を実施します。	・ローレンス市姉妹都市提携30周年記念オンライン交流会を令和4年10月22日(土)に開催。 ・リトアニア出身の国際交流員を任用し、庁内外への派遣事業を18回実施。 ・カウナス市との交流事業をオンラインで6回実施。 ・カウナス市との交流を推進するための市民組織「平塚・カウナス交流推進委員会」を設立。 ・リトアニアやカウナス市の魅力を市民にPRするための『リトアニアウィーク2023』を実施。	・ローレンス市青少年訪問団と市民との交流会を開催します。 ・リトアニア共和国カウナス市との姉妹都市提携に取り組みます。	・ローレンス市青少年訪問団と市民との交流会 開催日時:7月3日(月)13時30分～16時30分 場所:平塚市崇善公民館 参加者:ローレンス市青少年8人、引率者3人 ・カウナス市との交流写真展を開催 ・カウナス市のイベント『ジャパニーズ』で協力連携プログラムを実施 ・カウナス市と学校間のオンライン交流を4回実施 ・リトアニアやカウナス市の魅力を市民にPRするための『リトアニアウィーク2024』を実施 ・カウナス市と国際姉妹都市の盟約を締結(カウナス市で開催された調印式に市長らが出席)	・事業計画どおりローレンス市青少年訪問団と市民との交流会を開催し、市民同士の国際交流を推進することができた。 ・カウナス市との姉妹都市提携を実現することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
45	2	交流	②	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和5年1月13日(金)から15日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画852点を展示 見学者2,002人	令和6年1月12日(金)～1月14日(日)で実施予定	令和6年1月12日(金)から14日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画918点を展示 見学者2,606人	昨年度より開催時間を長くしたこともあり、見学者が増となる。参加した園児、見学者の親子他の文化芸術に対する関心を高め、芸術に親しむすそ野を広げる一助となった。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施
46	2	育成	①	美術教育の普及・体験事業(ギャラリートークの実施)	担当学芸員が展覧会のポイントや作品の解説・質疑応答等を行いながら、展覧会全体を理解してもらうギャラリートークを行います。	ギャラリートークを10回、アーティストトークを7回開催 参加者合計482名	多くの観覧者に展覧会全体を理解していただくために、展覧会のポイントや作品の解説を実施。	ギャラリートークを13回、アーティストトークを4回、講演会を3回開催 参加者合計729名	観覧者に展覧会全体を理解していただくための機会提供に努めた。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
47	2	育成	①	市民参加型第九のつどい	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として実行委員会を組織して実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で事業中止	12月 第九のつどい 1日開催	12月10日(日) 第九のつどい 観客723人	主に市民から参加を募った合唱団とプロのオーケストラの演奏により、当日は素晴らしい公演となった。また団員の中から選出された実行委員が自主的に合唱練習等の運営を担うことで事業を円滑にすすめることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
48	2	育成	①	小学生への囲碁普及活動	囲碁のまち ひらつかを市内小学生に知る機会を持ってもらい、新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やしていきます。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	限られた授業時数の中で、授業において取り扱うのが難しいことが課題となっている。	教育総務部	教育総務課	市と市民等が協働連携して実施
49	2	育成	①	文化芸術に関する資料の収集・提供	文化芸術に関する資料を地域のニーズに合わせて収集・整理し提供します。	中央図書館展示開催数 計55回	資料の収集 利用者の関心を高める資料展示の実施	中央図書館展示開催数 計77回	利用者に図書館資料を紹介し、関心を高めることができた。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
50	2	育成	①	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示(再掲)	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和5年1月13日(金)から15日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画852点を展示 見学者2,002人	令和6年1月12日(金)～1月14日(日)で実施予定	令和6年1月12日(金)から14日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画918点を展示 見学者2,606人	昨年度より開催時間を長くしたこともあり、見学者が増となる。参加した園児、見学者の親子他の文化芸術に対する関心を高め、芸術に親しむすそ野を広げる一助となった。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
51	2	育成	②	小学校へプロ演奏家を派遣するアウトリーチ事業	小学校へプロの演奏家を派遣し、小学生にプロの生演奏やお話などを体験してもらい、音楽に対する興味関心を高めます。	小学校6校で7日間実施 内容:ヴァイオリン2日間、ピアノ2日間、ピアノ連弾1日間、ブラスバンド2日間	小学校7校で7日間実施 内容:ピアノ、ピアノ連弾、ブラスバンド	小学校7校で7日間実施 内容:ピアノ2日間、ピアノ連弾3日間、ブラスバンド2日間	身近な小学校の音楽室で、目の前でプロ奏者の演奏や、楽器の仕組みなどのお話を聞くことで、普段の授業やコンサートでは得られない、貴重な体験を小学生に提供し、音楽への関心を大きく高めることができた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
52	2	育成	②	文化芸術ホールでの親子向け、中高生向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを親子向け、中高生向けに実施します。	5月5日(木) (親子向け)オモシロ楽器「チワ笛」を作ろう! 鳴らそう! 参加 32人 9月23日(金) (中高生向け)ブレイクダンス・ワークショップ 参加 27人 3月18日(土) (親子向け)林家染太こどものための落語体験教室 参加 15人	親子向けワークショップ 7月 1回開催 2月 1回開催 中高生向けワークショップ 8月 1回開催	7月25日(木) (親子向け)劇団影法師 オモシロ影絵体験ワークショップ 参加 34人 8月2日(水) (中高生向け)郷田ほづみ 声優体験ワークショップ 参加 39人 2月12日(祝) (親子向け)親子のための日用品楽器づくりワークショップ 参加 39人	計画どおりに親子向け2回、中高生向け1回のワークショップを開催し、合計112人の参加があった。影絵、声優、日用品楽器づくりといった多様なジャンルの文化芸術体験を提供し、参加した子どもや中高生の文化芸術への関心を高めることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
53	2	育成	②	生きる力を育む学校づくり推進事業	生徒の「生きる力」を育む学校づくりを推進するため、各中学校において芸術鑑賞教室の実施を支援します。	中学校15校(全校生徒対象) 演劇 3校 音楽 6校 古典芸能 5校 その他 1校	中学校15校 全校生徒対象 各校年1回開催	中学校15校(全校生徒対象) 演劇8校 音楽3校 古典芸能4校	計画どおりに芸術鑑賞教室を合計15回開催し、市内中学生に多様なジャンルの文化芸術鑑賞体験を提供できた。	学校教育部	教育指導課	市が単独で実施
54	2	育成	②	子ども向け囲碁教室	子ども囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	通年で水曜・木曜子ども囲碁教室、土曜子ども囲碁教室、日曜子ども囲碁教室を実施。参加67人。 7月28日(木)~8月2日(火)夏休み子ども囲碁入門教室実施。参加12人。 3月25日(土)~3月30日(木)春休み子ども入門囲碁教室実施。参加18人。	通年の教室に加え、小学校の夏季休暇及び春季休暇時に1回ずつ実施予定	通年で水曜・木曜子ども囲碁教室、土曜子ども囲碁教室、日曜子ども囲碁教室を実施。参加70人。 8月16日(水)~8月23日(水)夏休み子ども囲碁入門教室実施。参加2人。 3月26日(火)~3月30日(土)春休み子ども入門囲碁教室実施。参加14人。	夏休みと春休みの入門教室、通年での初級~上級の囲碁教室を子ども向けに開催し、86人の参加者があった。棋力の上昇に合わせて継続的に学ぶ機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
55	2	育成	③	文化芸術ホールでの働く世代向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを働く世代向けに実施します。	11月23日(水) 大人のための演劇ワークショップ 参加 23人	働く世代向けワークショップ 1月 1回開催	1月14日(日) わらりーまん 社会人のための漫才ワークショップ 参加22人	アマチュアの趣味として漫才を楽しむをモットーとした団体「社会人お笑い協会」を講師に迎え、日常生活において起こった嫌なことや困ったことを漫才のネタとして利用する漫才的ポジティブ思考を学び、講師の指導のもと、幅広い年齢層の参加者がその場で出会った「相方」と協力してネタを作り、披露することで、非日常の体験を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
56	2	育成	③	美術教育の普及・体験事業(ワークショップの開催)	美術に親しむ人々の拡大と美術に関する学習活動や体験を目的に、子ども・親子や成人を対象としたワークショップを実施します。	38回開催 参加者合計578名	美術への関心と親しむ人を増やすため、体験型学習活動としてワークショップを実施。	56回開催 参加者数合計1,083名	気軽に美術活動に取り組む機会の提供に努めた。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
57	2	育成	③	対話による美術鑑賞事業	作品を見る人が感じたことを言葉にし、他の人の意見も聞きながら考えを深め、作品の本質に迫ろうとする対話による美術鑑賞をボランティアの協力を得ながら市内小学校と連携して実施します。	10校24クラスで実施 参加者合計753名	対話による美術鑑賞を促進するため、市内小学校へ実施を呼び掛け。	8校38クラスで実施 参加者合計1,032名	美術作品に親しむことで、鑑賞力を高めながら気軽に美術館を利用できるように対話による美術鑑賞を実施した。	社会教育部	美術館	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
58	2	育成	③	子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全学的な読書活動を推進します。	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト ・第1回「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう」8月2日(火)、9日(火)開催 参加 16名 ・第2回「オリジナル絵本を作ってみよう！」2月25日(土)開催 参加 9組21名 ・第3回「星空の中のおはなし会」3月25日(土)開催 参加 18組55名 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 8月30日(火)開催 平塚市子ども読書活動ネットワーク ・機関紙『LINK』第25号発行 ・あんどんをぬろうin美術館 6月22日(水)開催 セタ市民飾りの部 2等受賞 ・本読みマラソン 11月25日(金)開催	平塚市子ども読書活動推進プロジェクトの開催 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議開催等による活動支援 平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会との連携	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト ・第1回「図書館でポスター・標語の宿題に挑戦しよう」令和5年8月16日(金)開催 参加 4名 ・第2回「外国の子どもたちに届けよう！～翻訳絵本づくり～」令和5年12月23日(土)開催 参加6組12名 ・第3回「おむすびひろば 絵本&パントマイム」令和6年3月28日(金)開催 参加20組52名 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第1回10月26日(木)開催 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第2回3月13日(水)開催 平塚市子ども読書活動ネットワーク ・機関紙『LINK』第27号第28号発行 ・あんどんをぬろうin美術館6月23日(金)開催 ・本読みマラソン 12月1日(金)開催	子ども読書活動推進プロジェクトを3回開催した。代表者会議2回、読書ネットのイベントを2回開催し、子どもたちの読書活動を推進する、各中学校区子ども読書活動推進協議会の活動を支援することができた。各中学校区子ども読書活動推進協議会について、ボランティアの声を聞きながら、よりスムーズな活動ができるよう効率的な運営のあり方を検討する必要がある。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
59	2	育成	③	多様な学習推進事業	地域の特性を生かしながら、これまで培ってきたものに新たな手法を取り入れ、多様な学習機会を提供します。	【地区公民館】 ・家庭教育学級 102講座 2,533人(家庭教育講演会を含む) ・シニア学級 149講座 2,914人 ・児童・生徒地域参加事業 96講座 7,467人 ・自主事業 176講座 10,061人 ・ブロック事業 12講座 347人 ・セカンドライフ教室 5講座 134人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 849人 ・ひらつか地域市民大学 139人	【地区公民館】(各館) ・家庭教育学級 5講座 ・シニア学級 5講座 ・児童・生徒地域参加事業 3講座 ・自主事業 5講座(各地区)、1講座(ブロック) ・セカンドライフ教室 2講座(各ブロック) 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 759人 ・ひらつか地域市民大学 44人	【地区公民館】 ・家庭教育学級 102講座 2,355人(家庭教育講演会を含む) ・シニア学級 129講座 2,781人 ・児童・生徒地域参加事業 105講座 9,129人 ・自主事業 175講座 8,750人 ・ブロック事業 16講座 530人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 759人 ・ひらつか地域市民大学 44人	地域の学習ニーズを把握し、地域人材・団体を活用した多様な学習機会を提供することができた。	社会教育部	中央公民館	市が単独で実施
60	2	育成	③	大人、女性向け囲碁教室	各種囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	6月29日(水)～8月31日(水)毎週水曜日にモーニング囲碁入門教室を実施。参加11人。 10月18日(火)～12月20日(火)毎週火曜日に女性のための囲碁入門教室を実施。参加11人。	モーニング囲碁入門教室を夏季に1回、女性のための囲碁入門教室を秋季に1回実施予定	6月28日(水)～9月6日(水)毎週水曜日(8月16日を除く)にモーニング囲碁入門教室を実施。参加10人。 10月17日(火)～12月19日(火)毎週火曜日に女性のための囲碁入門教室を実施。参加10人。	大人向けの囲碁入門教室としてモーニング囲碁入門教室、女性のための囲碁入門教室を実施し、囲碁を楽しむ方の裾野を広げることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
61	2	育成	④	ミニコンサートのプロアーティスト出演	市内の公共施設等を活用して、文化芸術公演を実施します。	2月3日(金) リトアニアウィーク講演会・ミニコンサート開催 参加 302人 ミニコンサート出演：早稲田桜子(ヴァイオリン)、早稲田眞理(ピアノ)	1回開催	3月21日(木)リトアニアウィーク2024マリンバミニコンサート開催(2公演) 参加 150人 ミニコンサート出演：椎名友樹、藤井里佳	2023年11月に姉妹都市となったリトアニア共和国カウナス市の紹介やリトアニア物産展などを実施するリトアニアウィークの一環で、マリンバミニコンサートを開催した。リトアニア国歌やリトアニア所縁の曲などを演奏し、リトアニア共和国の文化を体験する機会を提供できた。市内在住のプロマリンバ奏者椎名友樹さんが出演した。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④ 令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
62	2	育成	④	文化芸術ホール事業での市内アーティスト出演	市内アーティストの出演者を募集し、ひらしん平塚文化芸術ホールのオープンライブNEXTで演奏やパフォーマンスを実施します。	19回開催 24グループ出演 観客 1,100人	11回開催	10回開催 10グループ出演 観客 445人	平塚市出身、在住、市内で活動するアーティスト10グループが出演し、アーティスト育成の場となった。申込不要の無料コンサートとして実施して、多くの市民の鑑賞機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
63	2	育成	④	文化芸術団体の公演事業支援	市内で活動する文化芸術団体の公演を共催することで、活動の広がりを補助します。	10月8日(土)～10(月)第9回湘南バレエ・コンペティション2022 観客のべ1,300人	9月 星空のレジェンドーセタよせて-SPECIAL 1日開催 10月 湘南バレエコンペティション3日開催	9月18日(月)「星空のレジェンドーセタよせて-SPECIAL 開催 観客830人 10月7日(土)～10月9日(月)第10回湘南バレエ・コンペティション2023 開催 観客のべ2,000人	市内で活動する合唱団体、バレエ団体とひらしん平塚文化芸術ホールが共催することで、市民の合唱劇発表の機会や、バレエダンサーの育成支援を実施できた。また、共催により事業広報が強化され多くの観客が鑑賞し、合唱・バレエの振興が進んだ。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
64	3	活用	①	アートギャラリー等施設利用促進事業	文化芸術活動の発表の場としての市民アートギャラリー等の貸出しを行います。	利用団体数合計140団体	多くの団体等に文化芸術活動の発表の場を提供。	利用団体数合計143団体	多くの団体等に文化芸術活動の発表の場を提供した。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
65	3	活用	①	八幡山の洋館での文化事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館に対する理解を深めていただき、かつ活用することを目的に、各種文化事業を実施します。	4月 緑化まつり関連事業(中止) 5月28日(土)・29日(日)第22回音楽のおくりもの 参加者257人 10月15日(土)・16日(日)第23回音楽のおくりもの 参加者247人 12月3日(土)・4日(日)第12回クリスマスフェスタ 参加者270人 3月4日(土)歴史講座 参加者29人 3月11日(土)文化講座 参加者20人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日(12回)や春・秋のバラフェスタ、ジャズコンサートを開催	4月 緑化まつり関連事業 5月 第24回音楽のおくりもの 2日間 10月 第25回音楽のおくりもの 2日間 12月 第13回クリスマスフェスタ 3日間 3月 文化・歴史講座 2日間 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日や有料コンサートを開催	5月13日(土)・14日(日)第24回音楽のおくりもの 参加者324人 10月21日(土)・22日(日)第25回音楽のおくりもの 参加者317人 12月2日(土)・3日(日)第13回クリスマスフェスタ 参加者461人 3月2日(土)歴史講座 参加者27人 3月16日(土)文化講座 参加者32人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日(12回)や春・秋のバラフェスタ、ジャズコンサートを開催	市事業の他にも、指定管理者による積極的な利用促進事業が実施されている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
66	3	活用	①	埋蔵文化財展示・活用事業	埋蔵文化財の保存作業の最前線となる埋蔵文化財調査事務所において、市民に向けた常設展示やイベントを行う等、積極的な利用促進を図ります。	7月25日・26日 勾玉教室 参加者33名 3月27日・28日 勾玉教室 参加者43名 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示 見学者136名	埋蔵文化財調査事務所にて勾玉教室実施 7月24日(月)・25日(火) 3月末春 勾玉教室予定 埋蔵文化財調査事務所内展示常時実施	7月24日・25日 勾玉教室 参加者37名 3月26日・29日 勾玉教室 参加者31名 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示 見学者103名	多くの市民が参加し、埋蔵文化財への愛護意識の醸成につながった。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
67	3	活用	①	文化財調査成果周知・活用事業	国民共有の財産である文化財を広く市民に周知し、愛護意識を高めるために、市内で発掘された埋蔵文化財の調査成果の公開や出土遺物の展示等を行います。	平塚市遺跡調査・研究発表会を紙上発表の形式で3月に実施し、350部の冊子を配布。調査成果の情報発信を図った。	市ホームページで調査成果を公開。地区公民館での展示を実施。平塚市博物館他、各地の博物館展示へ市出土埋蔵文化財の貸し出し。	市HP上で令和4年度中に実施した発掘調査成果の公開を行い、情報発信を図った。 市内5つの公民館で展示を実施。平塚市博物館他、各地の博物館へ資料貸出5件、画像提供2件を行う。	市HP上で調査成果の公開を行い、従来よりも広く成果を周知した。公民館展示や各地公民館への資料貸出等を行うことで、埋蔵文化財の活用ができた。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
68	3	活用	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客のべ1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月14日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバル 12団体参加 観客のべ1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団体参加 観客332人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施し、合計39団体、観客2,590人が参加した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
69	3	活用	①	町内福祉村での文化的活動(再掲)	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で7,847回のサロンを実施し、75,256人が参加した。	各福祉村の活動が活発になるよう引き続き支援し、多くのサロン活動が展開されるよう促すとともに、広く活動を周知し、様々な世代の参画を促す。	18の福祉村で7,999回のサロンを実施し、79,907人が参加した。	ボランティアや参加者の高齢化や固定化が見られることから、福祉村活動を持続可能なものとするため、多世代の交流を促進する必要がある。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
70	3	活用	①	公民館の文化的事業(再掲)	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,173人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,583人(2日間)	計画どおりに実施し、活動団体や地域団体の成果発表を通して、地域コミュニティの醸成を図ることができた。	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施
71	3	活用	②	文化情報誌たわわ発行	平塚市内の文化や芸術に関する情報を掲載する情報誌「たわわ」を発行します。	3回(6月、10月、2月)、各4,800部を発行。	年3回(6月、10月、2月)発行	3回(6月、10月、2月)、各4,200部を発行。	平塚市に縁のあるアーティストや文化団体、平塚の歴史、ひらしん平塚文化芸ホール、友好都市などの情報を広く市民に提供できた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
72	3	活用	②	文化芸術ホールの情報発信	ひらしん平塚文化芸術ホールの指定管理者がウェブサイトやSNS、情報紙などで、ホールで開催されるイベントなどの情報を発信します。	ホームページ閲覧数 698,361件 情報誌ミツカル 12回発行 SNS(フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ) 随時更新	ホームページ、SNS随時更新 情報誌ミツカルを月1回発行	ホームページ閲覧数 621,753件 情報誌ミツカル 12回発行 SNS(フェイスブック、エックス、ユーチューブ)随時更新	ウェブ媒体、紙媒体を併用して、ひらしん平塚文化芸術ホールの利用や各種イベントの参加につながる情報発信ができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
73	3	活用	②	文化芸術ポータルサイト開設・充実	市内の様々な文化芸術に関する情報をウェブ上で閲覧できるポータルサイトを開設します。	他自治体7自治体の文化芸術ポータルサイトについて、掲載情報などを研究した。	市内の文化芸術に関する情報掲載状況の整理とポータルサイトに掲載する情報の検討を行う。	他自治体事例や、市内の文化芸術に関する情報掲載状況、文化芸術に関する市民アンケートの結果を踏まえて、ポータルサイトに掲載する情報の検討を行った。	ポータルサイトに掲載する情報の検討は進んだが、サイト構築方法や構築費用の検討を進める必要がある。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
74	3	活用	③	文化芸術ホール運営者による文化芸術ホール活用、賑わい創出	ひらしん平塚文化芸術ホール及び周辺の賑わいを創出するために、指定管理者がホール、見附台公園を活用したイベントや展示などを実施します。	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 1,640人 市民団体やお祭りとの連携 4回開催 参加 3,300人 エントランスギャラリーを活用した展示 11回開催 参加 5,830人	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 1,900人 市民団体やお祭りとの連携 3回開催 参加 1,290人 エントランスギャラリーを活用した展示 9回開催	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 1,900人 市民団体やお祭りとの連携 3回開催 参加 1,290人 エントランスギャラリーを活用した展示 11回開催 参加 6,000人	文化芸術ホールや見附台公園を活用した事業の実施により、ホールやホール周辺の賑わいが創出された。エントランスギャラリーや、廊下などに設置された自由に利用できる机・椅子の整備により、イベントが無い日でも多くの利用者で賑わいが創出された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
75	3	活用	③	まちづくり財団による文化芸術ホール活用	まちづくり財団が主催・主管する事業を、文化芸術ホールで開催し、多種多様な芸術体験を市民に提供します。	まちづくり財団の下記事業で合計14回文化芸術ホールを活用した。 ジャズフェスティバル1回、市民演劇フェスティバル1回、吹奏楽フェスティバル1回、市民合唱祭1回、ポタニカルワークショップ6回、能・狂言1回、サンリオファミリーミュージカル1回、オレンジレンジコンサート1回、湘南ひらつか寄席1回	文化芸術ホールを活用する事業 6回 5月ジャズフェスティバル 1回 8月おもしろ音楽講座 3回 11月吹奏楽フェスティバル 1回 12月 第九のつどい 1回	まちづくり財団の下記事業で合計6回文化芸術ホールを活用した。 ジャズフェスティバル1回、おもしろ音楽講座 3回、吹奏楽フェスティバル1回、第九のつどい 1回	計画された事業について文化芸術ホールで実施され、文化芸術ホールを活用して多くの文化芸術の鑑賞、体験機会が提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
76	3	活用	③	市内文化芸術団体が講師となる講座の支援	まちづくり財団やひらしん平塚文化芸術ホールが市内文化芸術団体が講師となる、講座・ワークショップを実施します。	7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日(すべて火曜日) ワークショップはじめてのポタニカルアート 20人 7月22日(金)、26日(火)、29日(金)、8月2日(火)、5日(金)、9日(火)、16日(火)、19日(金) ワークショップ2022将棋入門 20人	ワークショップ将棋入門(7~8月) 全8回 ワークショップポタニカルアート(7~8月)6回	・7月25日(火)、28日(金)、8月1日(火)、4日(金)、8日(火)、18日(金)、22日(火)、25日(金) ワークショップ2023将棋入門 24人 ・7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日、12月5日、12日、19日(すべて火曜日) ワークショップはじめてのポタニカルアート40人(令和5年度からまちづくり財団自主事業として実施となったため参考掲載)	まちづくり財団事務所2階会議室を会場として、多様なワークショップの機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和4年度の実績	③令和5年度の計画	④令和5年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
77	3	維持・保全	①	歴史的建造物保護事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館を適切に管理し、将来に向けて保存していきます。	記念館の保全管理を適切に実施。	通常の維持管理(特掲事項なし)	記念館の保全管理を適切に実施。	木造建築物のため、定期的に外壁塗装と防蟻工事が必要となる。来館者のアンケートには、維持管理が行き届いているなどの意見が多数あり、指定管理による運営管理で登録有形文化財の保存と活用が良好に図られている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
78	3	維持・保全	①	文化施設の維持管理と長寿命化	定期的な点検の実施と、計画的な建物及び設備等の改修により、文化施設の適切な維持管理と長寿命化を図ります。	文化施設34施設について、1回の自主点検を実施。 文化施設13施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。 中央図書館及び中央公民館の老朽調査を実施。 四ノ宮公民館の新築工事の実施設計、松原公民館改修工事の基本設計を実施。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設14施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。 四ノ宮公民館新築工事(工期令和6年度まで)、金田公民館増築改修工事の設計を実施。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設14施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。 四ノ宮公民館の新築工実施中、松原公民館改修工事の設計及び金田公民館改修工事の設計を実施中。	定期的な点検や、地区公民館の新築工事、改修に向けた設計実施など、計画通りに文化施設の維持管理と長寿命化に取り組んだ。	市民部	文化・交流課ほか	市が単独で実施